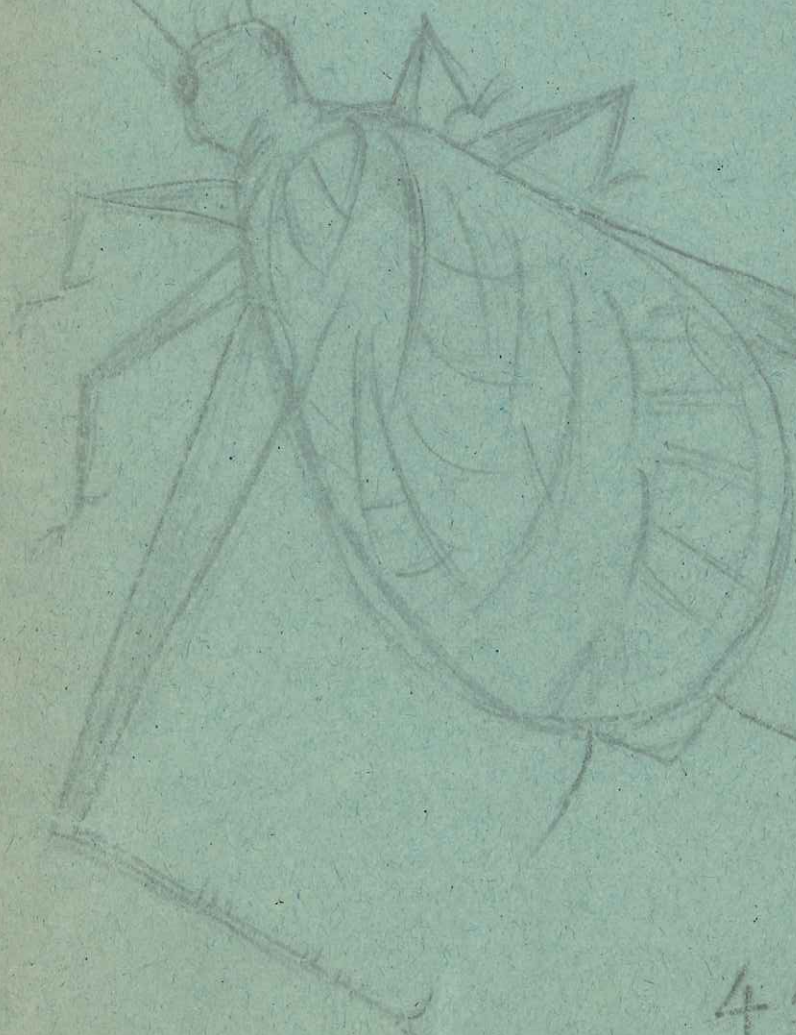


58

鈴虫

敬学会賞第十九回入選作品



4年 4組

鈴木健之

鈴虫の観察

目次

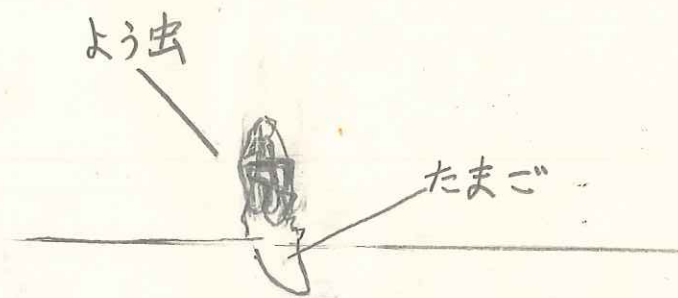
- (5) 鈴虫のかんさつを初めにわけ
使った道具。
- (7) よう虫。
- (13) よう虫の食物。
- (17) よう虫がからからぬけるようす。
- (21) よう虫の変化。
- (27) 土をしめらすには。
- (35) 鈴虫が成虫になるまで。
- (41) 鈴虫の鳴き方
- (43) 鈴虫を観察してわかったこと。
- (45) まとめ
- (47) はんせい、かんそう
- (49) これからの研究

使った とうぐ



鈴虫の研究を始めたわけ

ぼくは虫が大好きなので、虫のことをよく知りた
 と思いました。そのうちで秋になく鈴虫のことを
 生まれる時からなくまで、どんなかわり方を
 するか知りたと思ったので、研究をする気
 になりました。



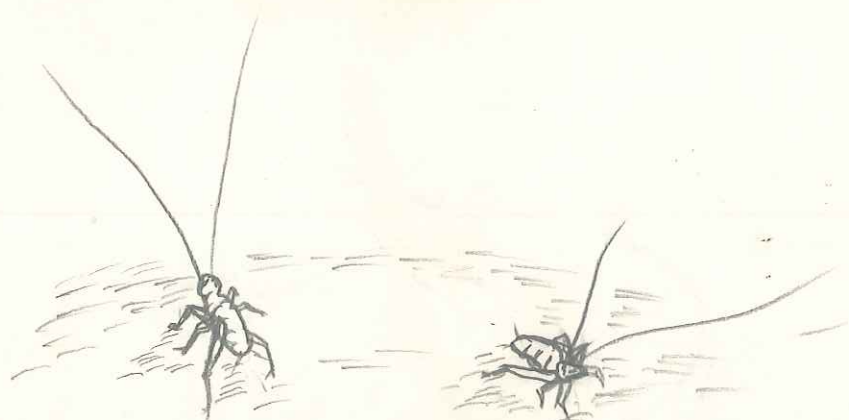
6月28日

朝、10時ころ 2mmほどの白いたまごから 鈴虫のよう虫
が生まれた。生まれた時は 白色で 2mmぐらいの大
きさで 2時間ぐらい すぎると、白色だった 色
が だんだん 黒っぽくなって、大きさは 2mmだった
のが 1mmに 小さくなりました。

よう虫の ひげは、からだの やくろばいも あります。

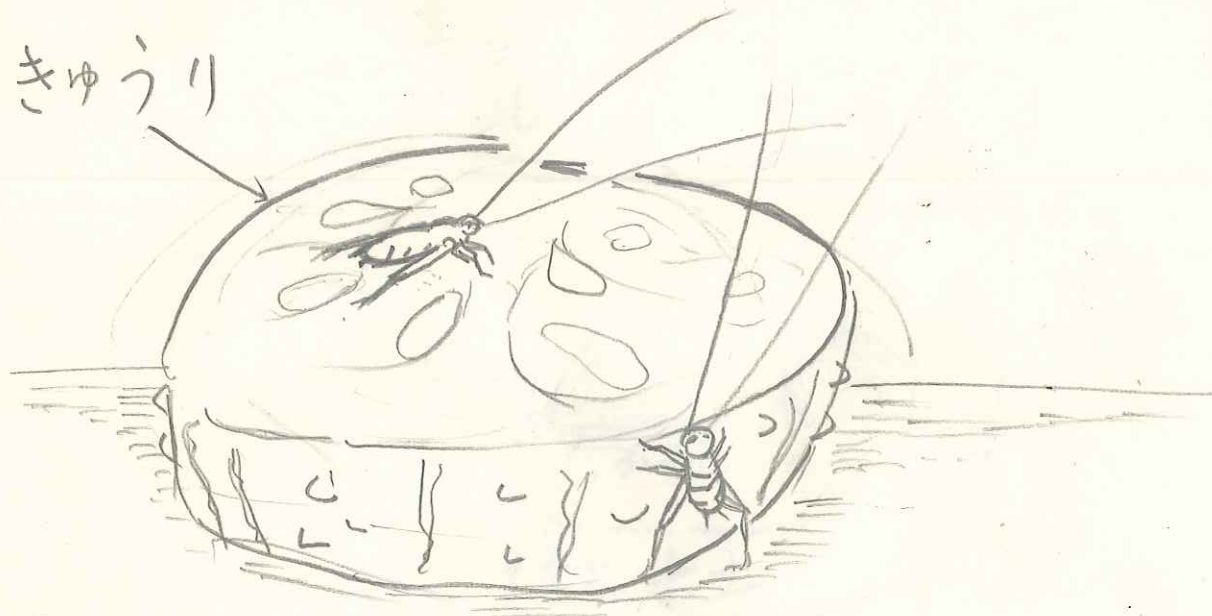
土の中から 生まれる 時は、ひげを だいて 出

(7) てきます。 からから ぬけ出すと ひげを ひんと



のばします。生まれたばかりでは、おす
めすのくべつはわかりません。

生まれるとすぐに、ひげをふりふり元
気に歩きまわっています。



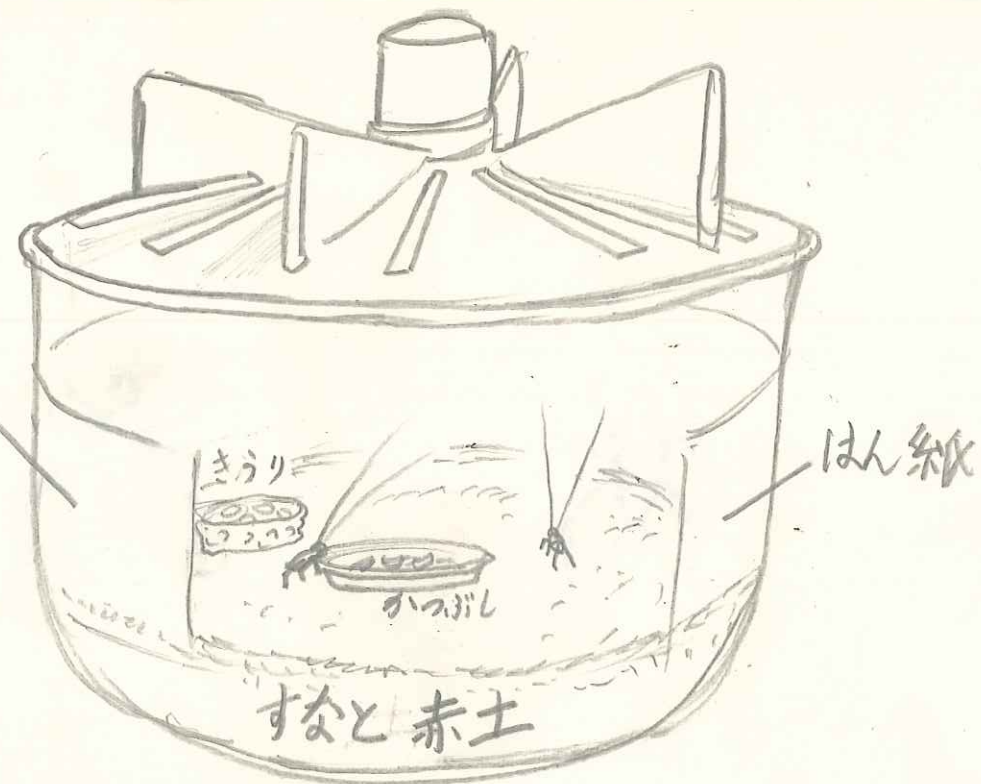
6月30日

はじめて きゅうりを切って 土の上に 置く
と、その つゆを すって、います。

まだ、なんの 変化もありません。

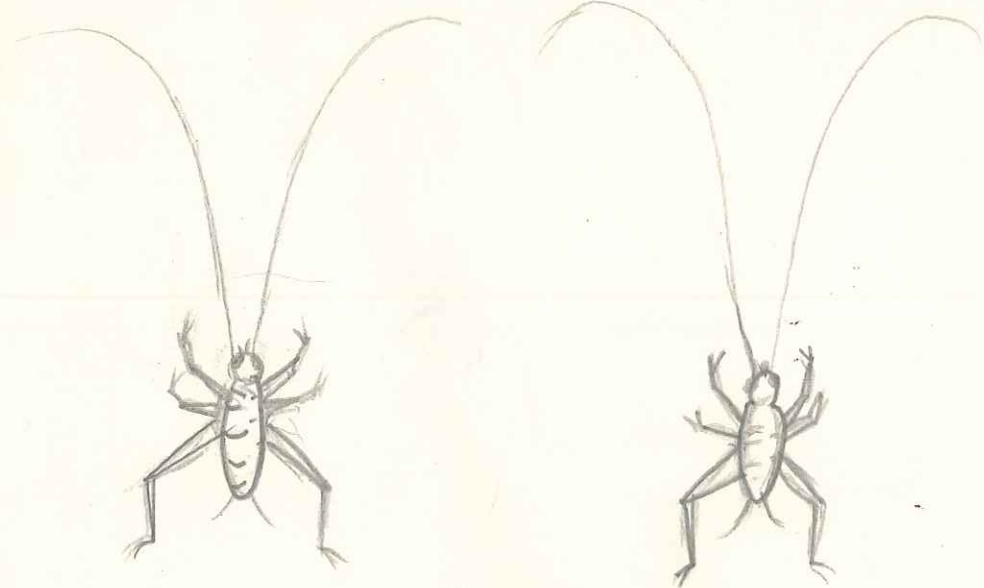
きりふきで、土が かわかないよう
にしめらしておきました。

はん紙



7月五日

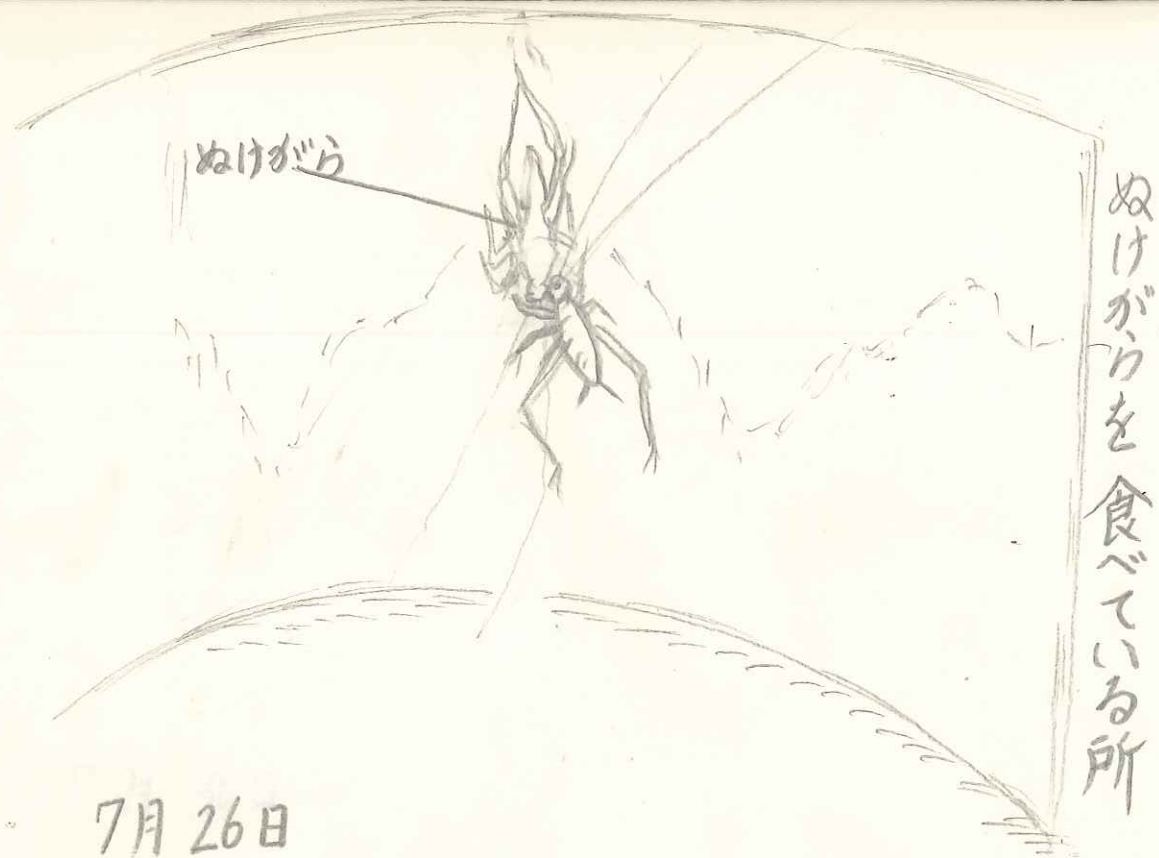
よう虫のからだの色がまえより いっそう
こくなって 茶かっ色になりました。
からだの大きさは 3mm になりました。
かつおぶしのこなを 小さな さらの上
に入れておきます。時々 かつお
ぶしを食べています。



7月20日

1回目のかわがまいけました。からだの
大きさは4mmになりました。

まだ、おす、めすのくべつは、わかり
ません。ひげはまっ白です。

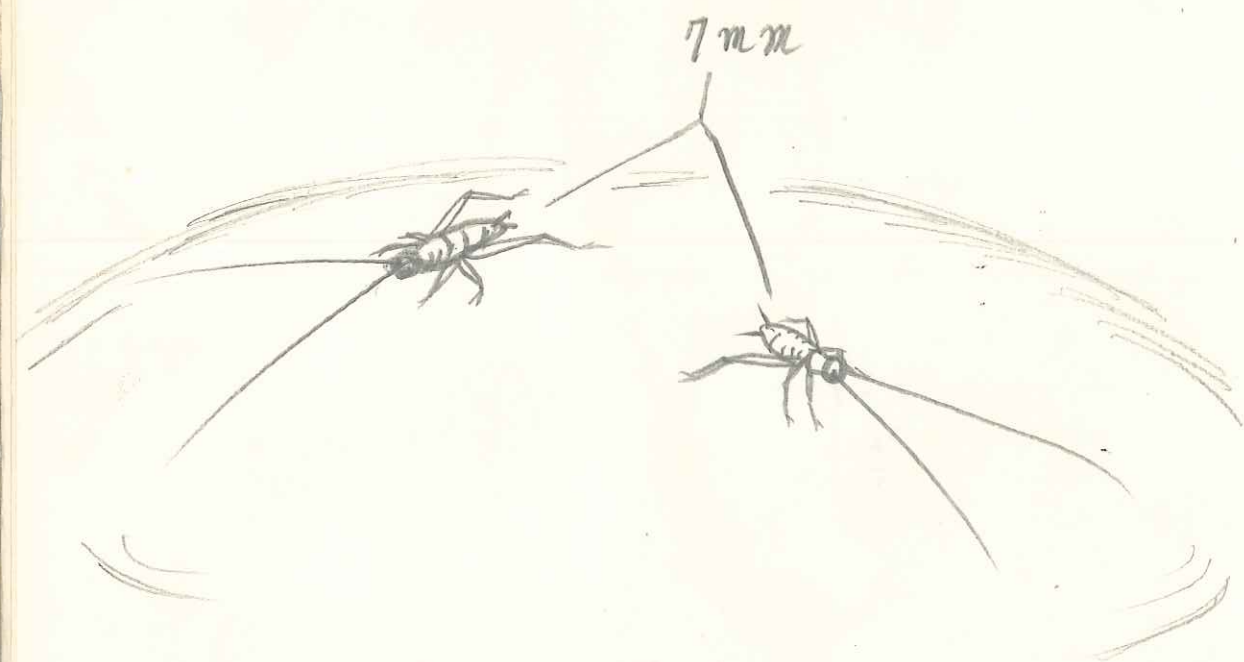


7月26日

2回目のかわがむけ、大きさは5mmになりました。

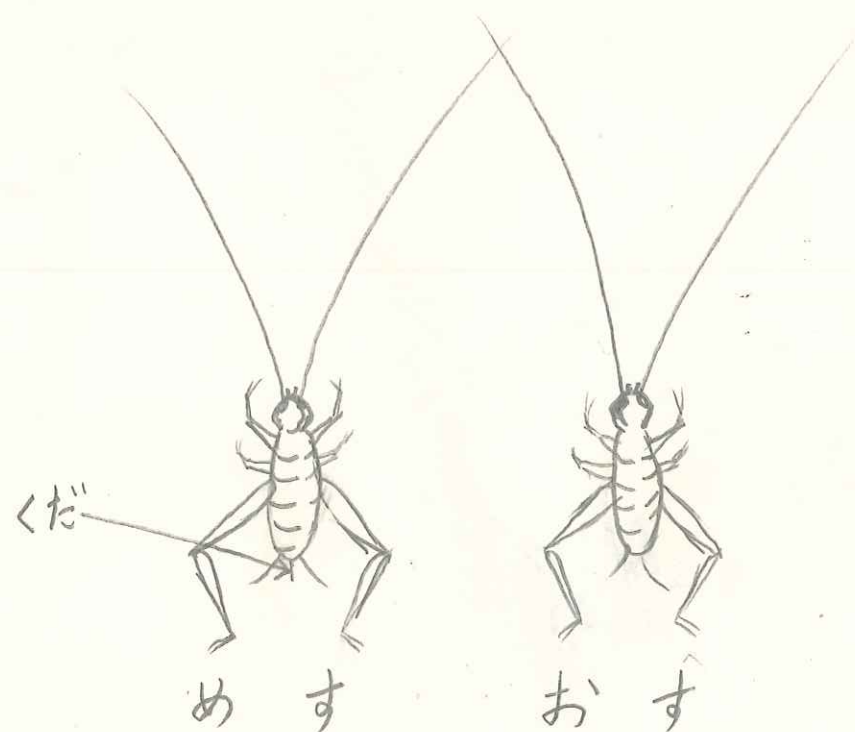
むけた時は色が白くて、時間がたつと、色がこくなって、虫の形もしがらしてきます。

ぬけがらを、みんな、食べてしまいます。



7月30日

毎日、大きくなるのが、よくわかるよう
になりました。虫の大きさは 7mmにな
り、コロコロとふとって 白いひげをピン
と立てて 歩く かげうが なかなか
おもしろい。まだ はねは ありません。

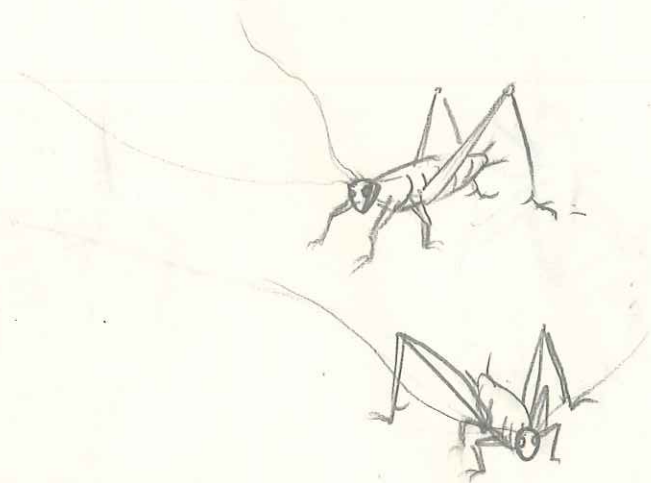


8月2日

3回目のかわがむけました。まだ、はねは
ありませんが、おすとめすのくべつが、
わかるようになりました。

めすのしりに1mmぐらいの、たまごを
生むくだが出ています。

おすにはありません。



8月7日

鈴虫の大きさは、めすが $1\text{cm}2\text{mm}$ 、

おすは 1cm になりました。

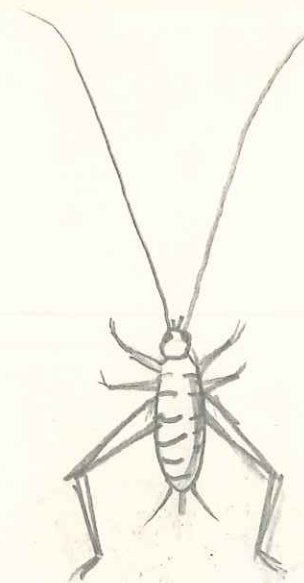
ひげは まっ白で $2\text{cm}5\text{mm}$ あります。

しめった土の 暗い所が すきです。

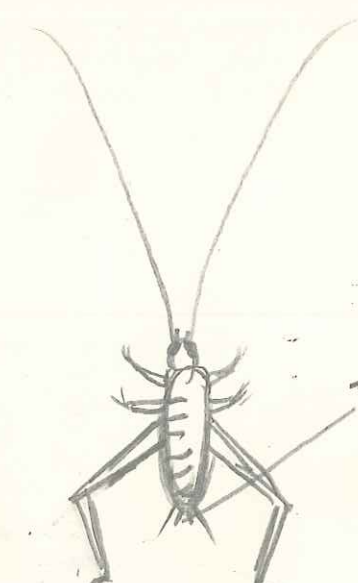
動き方も、かっはつに なってきました。

なすを 切って 食べさせました。

なすも おいしそうに 食べます。



めす



おす

つ

8月13日

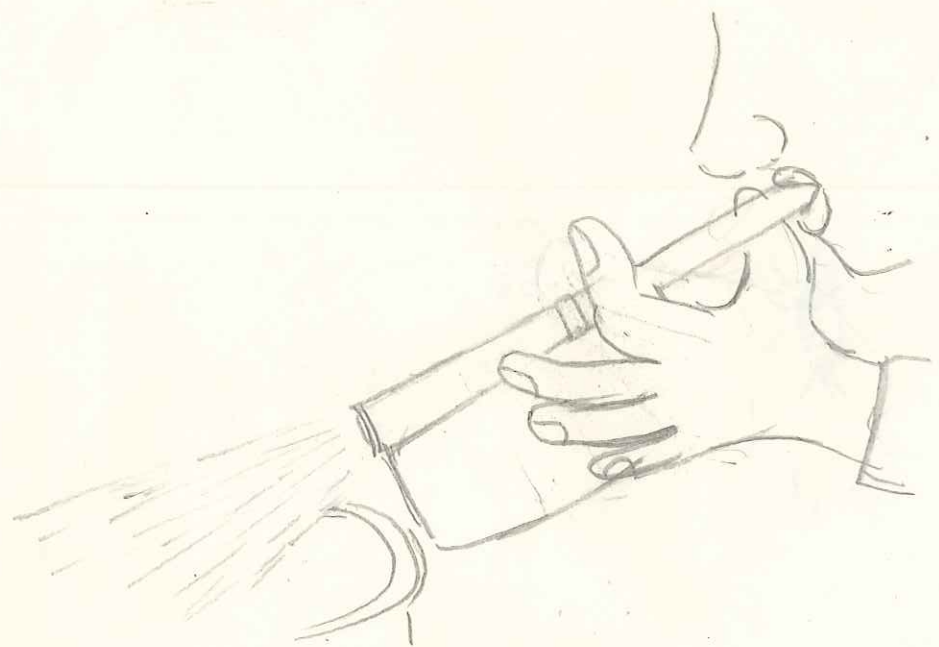
成長するのも早く 大きさは、1cm
5mm になりました。おすと めすの
くべつが はっきりと わかるようになり

ました。めすは おしりに たまごを生む
くだが 2mm になりました。おすの
しりには くだがなく、1mm くらいの

つのようなものが2本出ています。ま

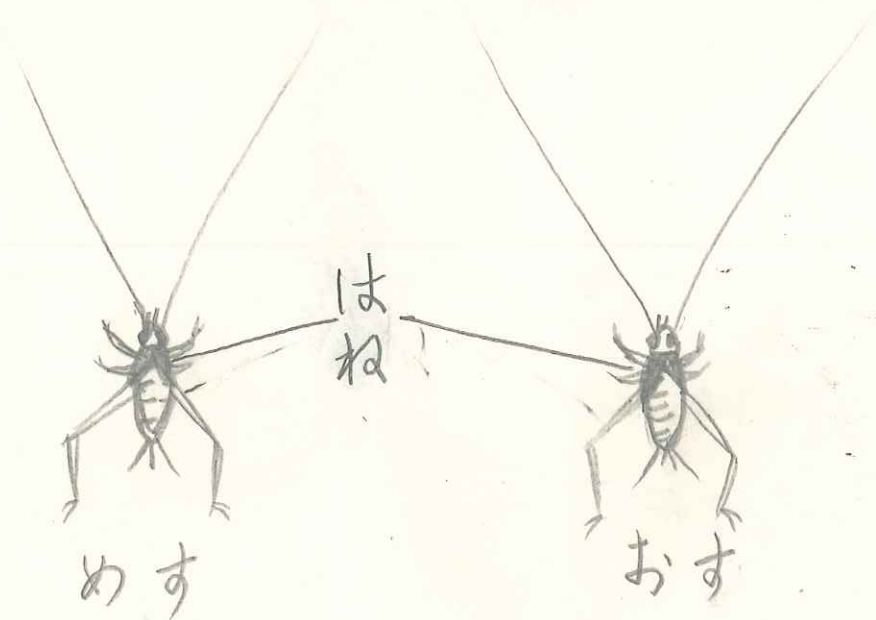
(25) だ はねは ありません。

土を、しめらしている所



8月 15日

日中は おとなしくて夜になると
活動します。暗くて土がしめった
所が すきですから、時々 きりふき
で 土を しめらかしておきます。



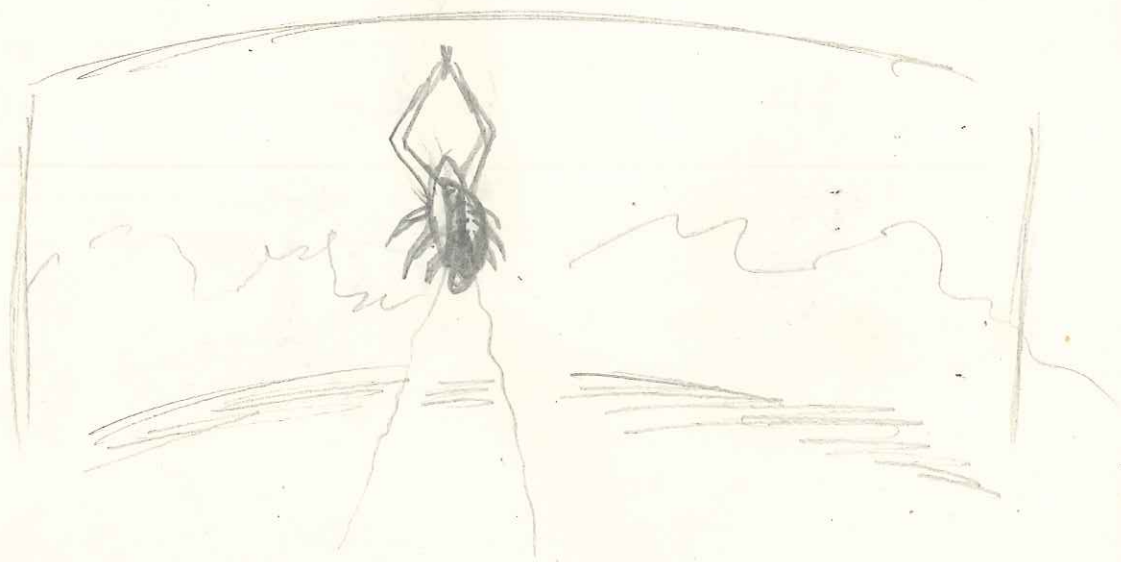
8月 28日

4回目の皮がむけました。せなか
小さな羽根をつけています。からだは
2cmになりました。むけるときは、
足を上につけて 下をむいて ぶら下が
ったような かっこうをしています。

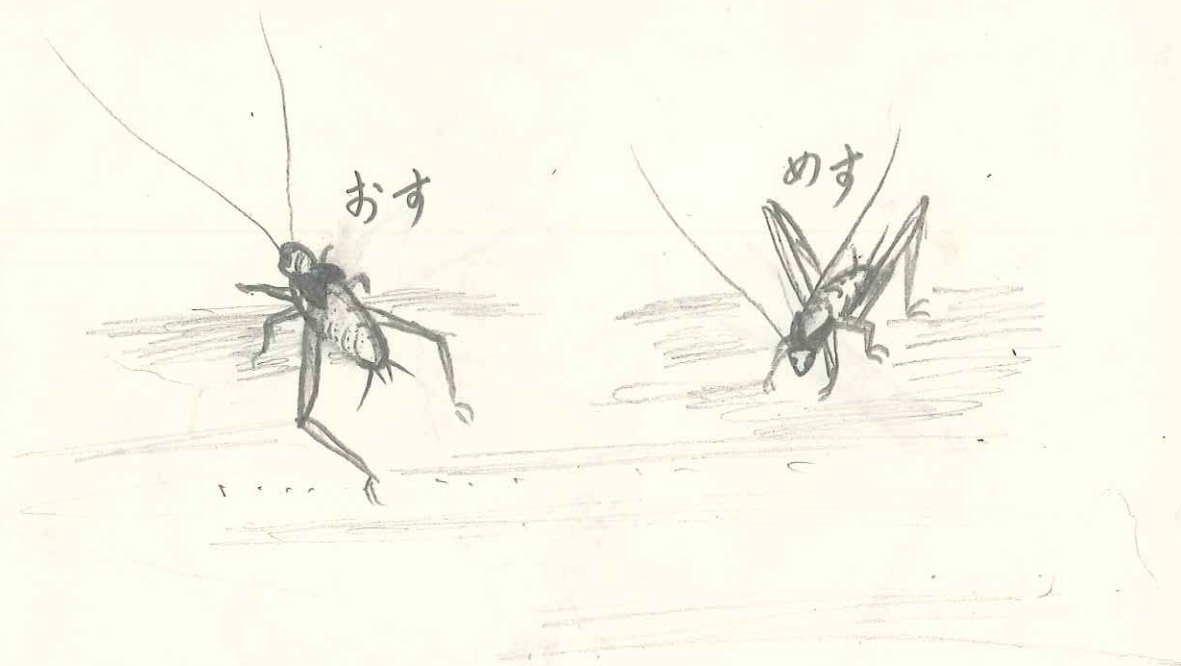
始め、せの方がわれて あたまを出し、

前の方に進みながら 前足を出してか

ら 後足を出して、それから長い



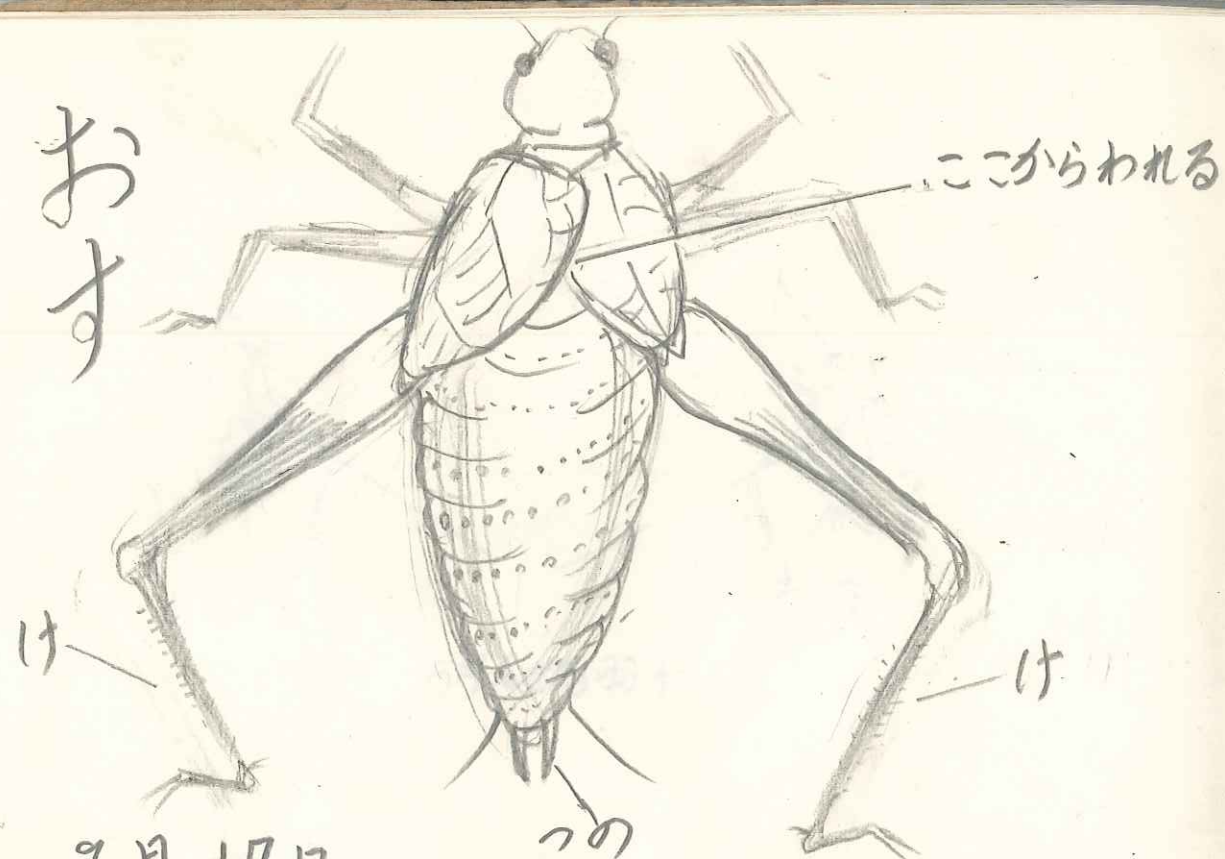
ひげを出します。むけ出るまで、10分
か15分かかります。むけ出るとくるり
とむきをかえます。むけたときは、
まっ白です。むけたからはきれいに
食べてしまいます。



9 月 10 日

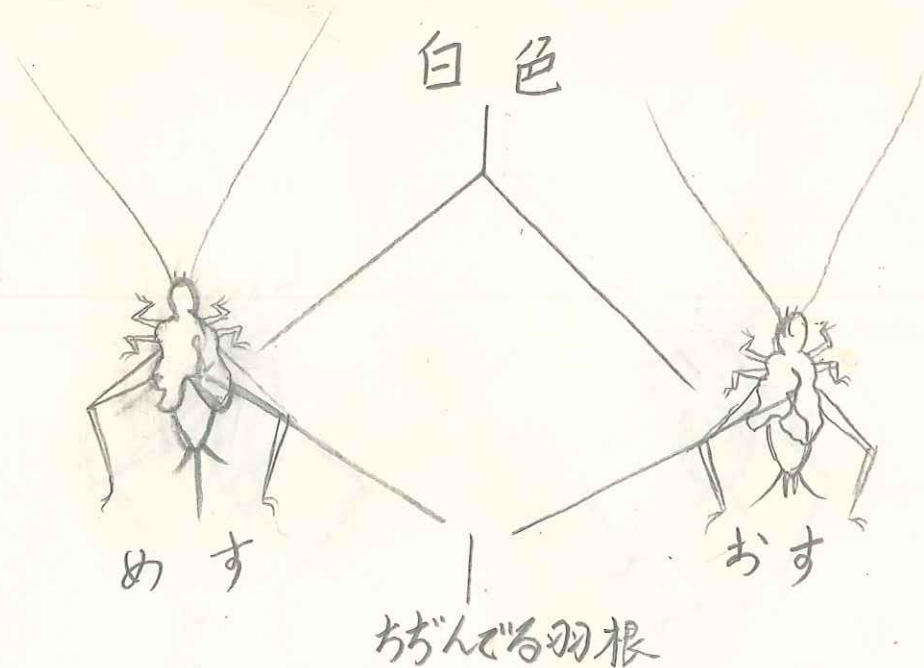
鈴虫のよう虫も、だんだん大きくなって来るのがわかります。虫全体の形もはっきりして来ました。ひっそりついていた小さな羽根も少しずつ立って来ました。羽根のつけ根のあたりが少し白っぽくなって来ました。

おす

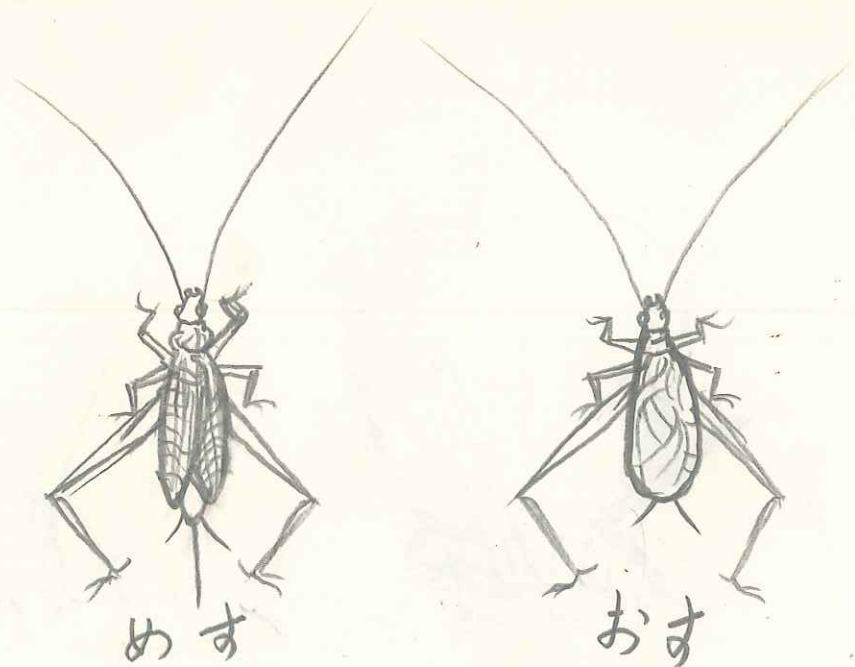


9月17日

午後1時20分に第5回目の皮が
むけました。むける時は羽根のつけ根
の白っぽい所がわれてそこから出て
来ます。出て来た時は羽根は小さく
ちがんでいます。色は全体がまっ
白です。ちがんでいる羽根が空気に
あたるとしだいに広がってぜんぶ羽根
が広がるまで15分くらいかかります。



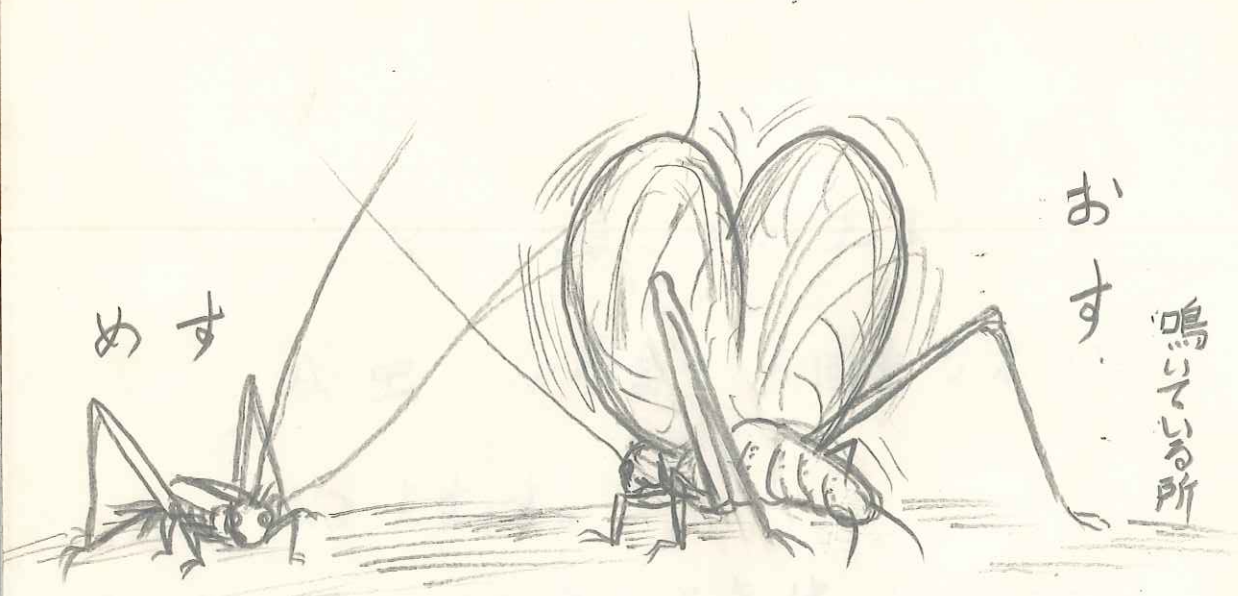
だんだんと、こい茶か色になるまで、
 3時間 ぐらいかかります。おすの羽根には
 なみのようなもようがあり、めすの羽根
 には、あみもようがあります。めすのしりに
 たまごを生む くだがありますが、長さは
 1cm 5mm になりました。



9月20日

めすもおすも 日がたつにつれて、
黒くなって来ます。おすのしりについ
ていた 1mm ほどのつのがとれま
した。このつのがとれると、いよ
いよ なくのだそうです。

すっかり 鈴虫の成虫に変わりました。
つのがとれるまで 3日かかりま
した。



9月23日

夜6時ころ おすは はじめて 鳴き 初め
ました。羽根を2まい立て からだを ふるわせ
ながら 鳴いています。よく見ると 口で"鳴く"
のではなくて、すき通るような うすい羽根を2まい
立て、それを すり 合わせながら、からだを
前後に 動かして 音を立てているのです。

めすは 鳴きません。

わかったこと

1. 鈴虫はたまごから生まれる。
2. 成虫になるまで 5 回もかわからぬけ出す。
3. 鈴虫が鳴くときは、口でなくのではなくて羽根と羽根をすりあわせて音を出すこと。めすはなかない。
4. おすも、めすも、自分のぬけがらを食べてしまうこと。とも食いもする。
5. 明るい所よりも、暗い所をこのむ。
6. たまごを生むと死んでしまう。
7. たまごは、土の中で冬をこす。

まとめ

6月にたまごからかえる。

8月、3回目の皮がむけた時、おす、めすのくべっかがわかる。

9月、5回目の皮がむけて、おすも、めすも、成虫になり、おすは、鳴き初める。めすはなかない。

10月、めすはたまごを生み、めすもおすも死んでしまう。

たまごはよく年の6月まで土の中で冬をこす。

はんせい

鈴虫の観察について、成虫になるまで、もっとくわしくするために、かわっていく虫のようすを、写真にとったり虫を、順々にアルコールにつけたりして記録しておけばよかったと思う。

かんそう

ぼくは、いままで虫がすきだったが、観察していて、よけい、虫が大すきになりました。いままでしらなかったことも、知ることが出来て大変面白く思いました。

これからの研究

ぼくは、虫が大好きだから、これからは、いろいろな虫の観察を、つづけて行きたいと思います。それから小さな生物も研究をしたいと思っています。